有益な意見交換ができた第２回・東京の環境を考える

シンポジウム「葛西の今と昔・そして未来」

12月22日（土）午後、北風も吹く氷雨のなか、駅から15分も歩く葛西臨海公園ウオッチングセンターに、何人の方が足を運んでくれるのか心配でした。しかし32名の参加をえて、総勢40名以上で「第２回・東京の環境を考えるシンポジウム」は無事終了しました。今回のポイントは、基調報告を短くして、ディスカッションに時間をかけるということでした。というのは、基調講演に力が入り、予定よりたいがい時間をオーバーし、肝心の総合討論がおざなりになることが多かったからです。そこで後半部に重点をおき、「葛西の自然の重要性」を葛西から東京湾、日本列島、極東と視野を広げていき、地球レベルの話題として認識するとともに、われわれのなすべきことを考えていきました。

パネリストとして、〔公財〕日本野鳥の会の金井 裕氏、NPO法人 リトルターン・プロジェクトの北村亘氏、NPO法人 生態教育センターの中村忠昌氏・大原庄史氏、当会からは、飯田陳也・鈴木弘行・三間久豊の各氏に、貴重な意見や資料を発表いただきました。

〔写真〕パネリスト・司会者一同
前列左から：鈴木・北村・大原・川内
後列左から：中村・飯田・金井・三間・大塚（敬称略）

東京の環境を考えるシンポジウム　（日本野鳥の会東京室内例会）

第２回　東京湾の自然・葛西の今と昔・そして未来

日 時：2012年12月22日（土）13時～16時
会 場：東京都立葛西臨海公園鳥類園・ウオッチングセンター1階
・レクチャールーム
主 催：日本野鳥の会東京

《プログラム》

【総合司会】大塚 豊

基調講演

1．葛西の歴史をたどる　葛西東渚・鳥類園友の会/日本野鳥の会東京
飯田陳也氏

2．葛西の野鳥たち～野鳥から見た葛西臨海・海浜公園の環境
日本野鳥の会東京　鈴木弘行氏

3．西なぎさのコアジサシコロニーについて～2年間の記録
NPO法人 生態教育センター　大原庄史氏

パネルディスカッション　【司会】川内 博

葛西の自然の重要性

パネリスト：飯田陳也氏、鈴木弘行氏、大原庄史氏、北村 亘氏（NPO法人 リトルターン・プロジェクト）、中村忠昌氏（NPO法人 生態教育センター）、三間久豊氏（日本野鳥の会東京研究部）、金井 裕氏（日本野鳥の会）

日本野鳥の会東京 〒160-0022 新宿区新宿5-18-16 新宿伊藤ビル3階
(Tel) 03-5273-5141（Fax）03-5273-5142（E-mail）kyw06432@nifty.com
(公式HP) http://tokyo-birders.way-nifty.com/blog/
（研究部）http://homepage2.nifty.com/tokyo-birdstudy/

また、会場には、財団本部の佐久間仁理事、葉山政治保護室長も出席されていました。

最後には、葛西臨海公園がいま抱えている大問題、「2020年オリンピック・パラリンピック」が招致された場合、園内に巨大なコンクリート施設が建造され、東京都に残された貴重な自然が破壊される問題について、パネリスト・参加者一体で、討議をしました。その成果は、これからの当会の活動にプラスとなって現れると思います。

末尾ながら、パネリストの皆様〔写真〕とシンポジウム会場を提供いただいた東京都、お世話いただいたNPO法人生態教育センターに感謝いたします。

（担当・司会：川内博・大塚豊）